

「西武鉄道社員がかなえたい『あれも、これも』ストーリー」シリーズ第8弾

「もっと暮らしやすい街へ。もっと快適な駅へ。 所沢駅バリューアップの裏側」を建築工事担当者が語る！

こだわりのポイント・お客さまのためにかなえたい夢や想いを聞いてみました。

2020年9月2日、所沢駅が生まれ変わりました。「あたたかみのある空間」をコンセプトにした新改札やパウダールーム、屋外デッキなどの新たな駅設備が運用開始されるとともに、駅直結の商業施設『グランエミオ所沢』第Ⅱ期もグランドオープン。すでに多くのお客さまから、新たな所沢の顔として愛されています。

今回は、入社以来20年以上不動産事業や観光事業に関する建築工事に携わった経験を活かし、所沢駅のパワーアップの立役者のひとりとなった工務部施設課の佐藤正さんに、「もっと暮らしやすい街へ。もっと快適な駅へ。所沢駅バリューアップの裏側」を聞いてみました！



【所沢駅ってどんなところ？】

所沢駅は池袋線と新宿線の結節点として都心へのアクセス性(池袋駅から特急ラビューで最速19分、西武新宿駅から特急レッドアロー一号で最速28分)に優れており、所沢エリアは高い利便性と豊かな自然を有する良好な住環境を備えたエリアです。所沢市の世帯数は右肩上がりに推移しており、所沢駅の乗降人員は「グランエミオ所沢」第Ⅰ期が開業した2017年度以降、毎年度10万人以上を達成するなど、今後ますますの発展が見込まれるエリアとなっています。

◆建築工事担当者に聞いた①

ひとくちに“建築”といえど鉄道施設はちょっと特別！

佐藤:私は「所沢駅東口駅ビル計画」の駅施設側の担当として、2018年頃から途中参加の形で着任しました。これまで不動産事業や観光事業における建物の建築工事に永らく携わってきたのですが、鉄道事業には慣れていないうえに、駅施設に関する知識も少なく……。また、鉄道建築物というのはかなり特殊で、電車を運行させながらの工事になるので、終電車後から初電車前までの限られた時間しかできない仕事が多く、必然的に時間もかかります。そういう意味でもいままでとは全然違いましたね。

2013年頃から基本計画に入り、約7年かけてやっと竣工となったので、そこに至るまでに関わった皆さまの

想いを理解し、それを現実に反映していくのが難しかったです。設計図ひとつとってもいろいろな人の想いが詰まっていて、時代の潮流や当時の考え方などを理解してからでないと判断できないことも多く……。また、駅施設と商業施設が融合した建物ということもあり、さまざまなことが手探り状態でした。

◆建築工事担当者に聞いた②

使命は鉄道施設と商業施設の「融合」!

佐藤:安全・安心はもちろん、居心地にも関わってくるため、特に動線を意識しました。新改札や自由通路が新設されてお客さまの流れが分散し、より快適で安全にご利用いただけるようになったと思います。また、テナントさまにも売り上げを伸ばしてほしいですから、そういったところも考えました。そういう、“駅施設と商業施設の融合”という点に一番力を注ぎました。お客さまから見れば直結した一つの大きな施設ですので、そこにちぐはぐさが出ないように気をつけました。

これまで、駅施設と商業施設は明確に線引きがあるのが普通でしたが、“それらを融合する”というのが私の役割、使命だとっていました。施設としてもそうですし、協働した西武プロパティーズや『グランエミオ所沢』とともに手掛けてくださったデザイナー、計画開始から今日まで携わってきた方々、また何よりも様々な厳しい条件の中で安全を重視して工事を行っていただく施工会社の方々……“皆さんの想いを融合する”ということも念頭に置いていました。そして『グランエミオ所沢』のコンセプトである、“所沢の都会的なイメージと田園イメージの融合”というのも重要な軸となっていましたね。

◆建築工事担当者に聞いた③

駅施設の充実が街全体の付加価値を上げる!

佐藤:鉄道業界にいと、どうしても“駅施設”だけで視点が完結しがちです。しかしその駅施設は街の顔であり、鉄道はそれらを結ぶもの。駅施設という点だけではなくそこを行き来する線、点を中心にした周囲の面……と、所沢エリアという大きなイメージで今後も業務にあたっていきたいと思うようになりました。また、鉄道事業は安全・安心だけを守っていればよいというような時代もありましたが、ここ数年でどれだけ付加価値をつけられるかという観点になってきているように感じます。そんな流れのなかでも地域の皆さまに愛され「いい路線だね」と言ってもらえるような仕事がしたいですね。

“街の顔”である駅施設が充実すると街全体のイメージアップにもなると思うので、所沢エリア、西武線沿線が盛り上がっていること、住みやすいところだということを広く知っていただき、ゆくゆくは沿線外からもお客さまを誘致できるような駅施設、住みたい駅ランキングの上位にランクインするような沿線の街づくりをしていきたいです。ぜひ、パワーアップした所沢駅・所沢エリアにお越しく下さい!



もっとお読みにになりたい方は、こちらから!

<https://www.seiburailway.jp/railways/aremokoremo-pj/article/038.html>

【西武鉄道社員がかなえたい『あれも、これも』ストーリー』について】

当社では、2016年4月にコーポレートメッセージ「あれも、これも、かなう。西武鉄道」を制定しました。

このコーポレートメッセージは、幅広い魅力を持つ西武線沿線で、さまざまなことを「かなえたい」という夢や希望をお客さまに持っていただき、またその夢や希望を「かなえていこう」という、当社の前向きな姿勢と想いを表現し、お客さまとともに歩んでいくことを目指しているものです。

「西武鉄道社員がかなえたい『あれも、これも』ストーリー」は、当社の特徴的なプロジェクトやサービスについて、こだわりや苦労しながらも前向きに挑戦したポイントを、開発担当者が直接語ることにより、お客さまの夢や思いを「かなえる」企業姿勢をお伝えする Web コンテンツとして、2018年6月から順次公開しています。

Vol.1 2018/6	「拜島ライナーをつくりだした企画担当者のチャレンジ」 https://www.seiburailway.jp/railways/aremokoremo-pj/article/017.html	
Vol.2 2018/9	「ぐでたまスマイルトレインを手掛けた企画担当者の想い」 https://www.seiburailway.jp/railways/aremokoremo-pj/article/024.html	
Vol.3 2018/11	「新型特急車両『Laview』プロジェクト担当者の熱い想い」 https://www.seiburailway.jp/railways/aremokoremo-pj/article/025.html	
Vol.4 2019/3	「飯能駅リニューアルプロジェクト担当者の斬新な視点」 https://www.seiburailway.jp/railways/aremokoremo-pj/article/026.html	
Vol.5 2019/8	「西武線アプリ開発担当者の先進的な視点」 https://www.seiburailway.jp/railways/aremokoremo-pj/article/032.html	
Vol.6 2019/12	「西武秩父線開通 50 周年！進化する秩父のいまむかし」 https://www.seiburailway.jp/railways/aremokoremo-pj/article/034.html	
Vol.7 2020/3	「20 年以上愛されるウォーキング&ハイキングのヒミツ」 https://www.seiburailway.jp/railways/aremokoremo-pj/article/035.html	